

令和2年度社会教育施設評価書（目標設定・実施結果）

施設名 近代美術館

評価基準 (達成度)	達成 (目標値 \geq 100%)	○
	ほぼ達成 (目標値 \geq 80%)	△
	未達 (目標値 $<$ 80%)	×

○全館共通項目

		取組の内容		自己点検		
		1年間の目標値	実現方策	達成値	達成度	課題・対応の方向
利用状況	利用者満足度	94%	アンケートに示された意見を活用して改善を行う	94.4%	○	全般的に評価は高かった。引き続き満足度向上に努める。
	入館者	100,000人	広報に努め一層の集客を図る	45,145人	×	新型コロナウイルス感染症拡大による展覧会中止等の影響が大きいと思われるが、引き続き魅力的な展示・講座を実施し、入館者の増加に努める。
	の教育・普及事業への参加者	増加させる (前年度) 6,068人	ニーズを汲み充実を図る	202人	×	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きいと思われるが、引き続き魅力的な講座を企画し、オンライン開催等開催方法を工夫し、参加者の増加に努める。
	トインタクセネット	増加させる (前年度) 777,829件	改修したホームページを活用して訪問者のニーズに応える	美術館ウェブサイトアクセス数 472,661件	×	新型コロナウイルス感染症拡大による展覧会中止等の影響が大きいと思われるが、引き続き情報の即時反映に努め、アクセスの増加につなげていく。
資料・収蔵品活用	活用	増加させる (前年度) 351点	県民共有の財産との観点から有効活用に努める	314点 (資料・寄託作品を含む)	△	新型コロナウイルス感染症拡大による全国的な展覧会中止または縮小などにより、館外貸出件数については減っているが、アフターコロナにおいては財産の有効活用に努めていく。
	29件	特別利用許可申請数	16件			
	22件	館外貸出件	15件			
	33件	画像貸出件数	44件			
	435件	計	389件			

	維持管理	美術作品の保存に適正な環境を維持	P F I 事業者に保存環境の維持履行を求め、職員として適正な取扱いを実施	ほぼ達成	△	葉山館においては、温湿度の改善が見られるようになってきた。引き続き、要求水準を満たしつつ、省エネ運転を実施していくように努めていく。 鎌倉別館においては、改修工事後の安定的な保存環境の維持について、P F I 事業者に協力を求め、よりよい環境での運営に努める。
調査研究	研究成果の公開 (発表・印刷物等)	増加させる (前年度) 27 件 23 件 10 件 4 件 64 件	研究成果を積極的に公開し美術館員の学術成果を発信する 文献等の執筆数 研修会の講師派遣数 研究集会での発表件数 競争的外部資金の獲得件数 計	6 件 0 件 0 件 3 件 9 件	×	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、講師及び研究の機会が減少したが、引き続き研修・講座講師等、研究成果の公開に努める。
情報発信	事業情報の発信	増加させる (前年度) 3,041 件 11 件 222 件 3,274 件	ツイッターフォロワー数 プレスリリース数 記事等掲載数 計	4,096 件 8 件 228 件 4,332 件	○	新型コロナウイルス感染症拡大の影響からの外出の自粛による県民の美術作品鑑賞機会の減少を補うため、展覧会や作品を紹介する取組みを積極的に行った。 引き続き、今後も魅力的なコンテンツを作成し、着実な情報発信に努める。
施設運営等	観覧料及び事業等収入	43,530千円	展覧会の鑑賞を通じて県民の近代美術に対する知識及び教養の向上を図る	16,614千円	×	新型コロナウイルス感染症拡大による展覧会中止等の影響が大きいと思われるが、引き続き魅力的な展示・講座を実施し、観覧料及び事業収入の増に努める。

施設点検	(記述式) 一層魅力ある施設を作る	職員自ら他者目線で点検する	職員自らPFI事業者とともに修繕箇所や不具合がないか確認を行っており、発見した修繕箇所は修繕計画に反映させている。	○	安全な施設運営を実現できている。引き続き、安全で快適な施設の維持とともに、誰にも開かれたインクルーシブな施設環境を目指し、点検結果を修繕計画や事業計画に反映させ、適切な施設点検を行っていく。
自己研鑽及び他館の研究	(記述式) 積極的に研修に参加させるとともに他館との情報交換・共有に有益な会議等へ参加する	職員の研修の機会をつくり、専門分野を磨く。自分達を客観視してヒントを得るため、他館をリサーチして学び、館運営を省みる。	全職員を対象に館内で情報セキュリティ研修等の実務研修を行った。	△	新型コロナウイルス感染症拡大により、館外での会議・研修が中止または延期となったが、感染状況の改善に伴う緩和の状況に応じて研修等の機会を増やしていく。

注) 各論は各館独自の取組みを中心に評価項目や指標を設定する。